

幹事会議事録

日時 昭和63年12月20日00時～02時
場所 気象庁地震火山部
出席 会長 下鶴
幹事 岡田*, 高木*, 久保寺*, 加茂*, 岡村*, 内田* (代理, 国土庁),
津村 (*は電話による出席)
委員 山川
事務局 森, 小宮, 吉川, 中禮, 舟崎

12月19日21:48頃十勝岳が噴火し泥流が発生したことから、緊急に幹事会を開催し、実況の把握、火山活動の総合判断等を行った。その結果12月20日午前2時に下記の会長コメントをまとめ、旭川地方気象台から臨時火山情報として発表した。

なお、20日09:30より気象庁において会長が記者レクチャーを行った。

十勝岳の火山活動に関する火山噴火予知連絡会会長コメント (前頁参照)

幹事会議事録

日時 昭和63年12月25日00時30分～02時30分
場所 気象庁地震火山部
出席 会長 下鶴
幹事 岡田*, 高木*, 井田*, 久保寺*, 岡村*, 内田* (代理, 国土庁),
津村 (*は電話による出席)
委員 勝井*, 山川
事務局 森, 小宮, 中禮, 舟崎

12月24日22:12頃及び25日00:49頃十勝岳が噴火し泥流(注)が発生したことから、緊急に幹事会を開催し、実況の把握、火山活動の総合判断等を行った。その結果25日午前2時40分に下記の会長コメントをまとめ、旭川地方気象台から臨時火山情報として発表した。また、同時に気象庁において会長が記者レクチャーを行った。(注:後日の調査で火砕流と判明した)

十勝岳の火山活動に関する火山噴火予知連絡会会長コメント (前頁参照)

幹事会議事録

日時 昭和63年12月28日20時～24時
場所 KKR札幌（札幌市）
出席 会長 下鶴
幹事 岡田，井田*，久保寺*，加茂*，岡村*，尾田*，津村*
委員 勝井，山川* （*は電話による出席）
事務局 森*，小宮，岸尾*，山本*

下鶴会長は、昭和63年12月26日から北海道において現地調査及び打合せを行った。26日は札幌管区气象台との打合せ会，同日夜には勝井委員，岡田委員との打合せ会，27日には空中及び地上からの十勝岳の調査，28日は北海道大学有珠火山観測所において資料の検討及び岡田委員との打合せ等を行った。

これらの調査及び打合せ会の結果を踏まえ，28日20時より札幌において幹事会が開催され，これまでの十勝岳の火山活動を総括的に整理し，現況及び今後の見通し等について検討が行われた。その結果，下記の会長コメントを発表することになった。

なお，会長コメントは29日10時40分に札幌管区气象台において報道機関に発表され，下鶴会長，勝井委員，岡田委員，管区气象台が説明を行い，また，旭川地方气象台から火山情報により発表された。

十勝岳の火山活動に関する火山噴火予知連絡会会長コメント（前頁参照）

平成元年2月10日

火山噴火予知連絡会事務局

活火山検討ワーキンググループについて

昭和63年10月28日に開催された火山噴火予知連絡会において，活火山について検討するためワーキンググループを設置することとされた。これに基づき下記の委員に検討を依頼することとなった。

記

| | |
|-------|---------------------|
| 下鶴大輔 | 火山噴火予知連絡会会長 |
| 藤井義雄 | 北海道大学理学部教授 |
| 荒牧重雄 | 東京大学地震研究所教授 |
| 小野晃司 | 通産省工業技術院地質調査所環境地質部長 |
| 岩淵義郎 | 海上保安庁水路部企画課長 |
| 津村建四郎 | 気象庁地震火山部地震火山業務堪長 |